

まるじゅんのヨガが教えてくれたこと⑫



中園順子

いまこそ「ぶんぶん」しよう。
地球と未来と大切な人々のための
広告代理店になろう。
そして健康でいよう。

放射線基準値やマグニチュードがお手盛りで書き換えられても、放射性物質の雨が降っても、低レベル核廃棄物が海洋投棄されても、安全、安心を言い続けるマスメディア。この期に及んで自らが原発利権の広告塔に過ぎないことを晒し続けるだけの、ジャーナリズムとは呼べない人々への批判はやめるわけにはいかないが、わたしたちがやるべきことは、ひとりひとりがメディアになり、情報のバケツリレーをすることだ。

だれもが自分のアタマで判断して行動できるよう、判断に必要な正しい情報を、ツイッターやブログ、手づくりイベント、UstreamやYoutubeなどで発信し、共有する。その際、自分の判断の押しつけを控え、感情を交えず、結果については期待しない(相手の判断がどうなろうと気にしない)。

特に重要と思われる情報は、「電気は原発全廃しても足りている／原発のほとんどが問題のある活断層上に立っている／原発コスト計算には核廃棄物を何万年も管理す

るコストなどが計上されていない／日本の電気は自由化されていない(消費者は自然エネルギーを選べず原発の電気を使われる。価格も電力会社が好きなように決めてきた)／原発推進産官学複合体はエネルギーの未来や温暖化ではなく、原発利権を守ることに関心がある」など。もちろん水や土壌の汚染、内部被ばくに関する情報も。

この50年間、ここまで原発への関心が高まったことはない。正しい情報さえきちんと行き渡れば、みんなが主体的な判断と行動に至るチャンスが来ている。逆に、ここで一気に行けないことには後がない。

もうひとつ、気をつけてほしいのがセルフケア。自分の心身の健康を保つことだ。日々腹立たしい人災ぶりや深刻な状況に向き合っていると、知らず知らずのうちに身も心も強い影響を受ける。可能な人は必要に応じ1〜数日のニュース断ちやネット断ちを。緊急のときのみ知らせてくれるよう家族や仲間頼んでおけば心置きなく自分をリセットできる。